

事業所名

あゆっこ中依知教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

5月

25日

法人（事業所）理念		それでも、また明日来たくなる「あゆっこ中依知教室」					
支援方針		楽しさを最優先としつつ、誤りにもしっかりと向き合って指導し、社会性を育む療育を行う。					
営業時間		10時	分から	17時	分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	チャイムや笛で時間を区切り、生活パターンを固定している 籠を用意し、自分の荷物を管理できるように支援する トイレ誘導をしながら、トイレトレーニングを行う 食事やおやつを同じ場所で提供する（介助が必要な方には自分で食事がとれるよう支援）					
	運動・感覚	ダンスやポッチャ、風船バレーなど楽しく身体を動かす活動や手指訓練を目的とした工作などの提供 ルームランナー、エアロバイクが常時使用でき、散歩や公園遊びも行う 月に1度の理学療法士による体操 必要な児童には活動以外にもダンスなどをして、体を使う機会を増やすよう取り組んでいる					
	認知・行動	事業所内通貨を用いて、おつりの計算や価値観を学ぶ買い物学習 とんとんどうぞ等のリズム遊び、風船バレーなどで空間認識、椅子取りゲーム、フルーツバスケット等でルール上の行動を学ぶ ピアノや大正琴、ドラムなどを自由に使えることにより、音楽療法的、精神的な豊かさを身につけ、また練習することにより達成感を味わえる 調理を通して、味覚を育み、食べず嫌いも克服する機会を与える					
	言語 コミュニケーション	来所時の声掛けや、あいさつなどをとおして、コミュニケーション能力を向上させる トーク番組のようにホスト役ゲスト役となり対話能力、表現力を高める活動 写真でひとことなど、前に出て人を笑顔にするパフォーマンス活動 小集団でのディスカッションの場を設け、傾聴の仕方や折衷案の出し方などを知り、コミュニケーションを学ぶ					
	人間関係 社会性	同一法人内他事業所間交流で程よい距離感などを学ぶ 一人遊びに終始しないよう、全員が参加できる活動を毎日提供している 表情をよみとるクイズや他己紹介、職員体験などの他者を知る活動 児童役をたて、ユニフォームを着用して職員役となり自分の思う職員像を演じることで自分や他者を俯瞰で見られるごっこ遊び					
家族支援		引継ぎ、モニタリング、個人面談を行う 電話にて要望を伺ったりする			移行支援		日中一時に移行 卒業後も情報を提供 相談支援員さんのモニタリングへの協力
地域支援・地域連携		芋ほり			職員の質の向上		内部研修を年10回ほど行う 外部研修(豆の木主催の研修)への参加(年間2回程度)
主な行事等		夏祭り ハロウィン お月見 クリスマス会 餅つき 誕生日会 バレンタイン ホワイトデー ひなまつり 卒業式					